

連絡先:〒700-0905岡山県岡山市北区春日町5-6 岡山県労働組合会議内 いのちと健康を守る岡山県センター
TEL:086-221-0133 E-mail:okakenro@mx1.tiki.ne.jp URL:http://ww1.tiki.ne.jp/~okakenro/karoshi.htm

戦争する国への道、くらしと労働破壊ストップ はたらくものの命と健康を守ろう！－開会挨拶

講演とパネルディスカス、－5分科会に中四国から110人が学ぶ－

いのちと健康を守る第8回中四国ブロックセミナーは、9月17-18日高知市の高知城ホールで開かれ、110人が参加しました。

オープニングで高知センター合唱団の皆さんが「人間のうた」などを披露、「たんぽぽぽ」を全員で合唱。



左右
高知センター合唱団
吉本理事長の挨拶



いのちと健康高知県センターの吉本理事長が開会挨拶。「戦争法が強行されて1年、南スーダンでの新任務付与など戦争する国への道、くらし、労働破壊の暴走が強行されようとしています。これをストップし、いのちと健康を守るために、学習と交流をすすみましょう」と挨拶しました。

ストレスチェックと過重労働の是正を－岡田医師の講演

全体会は、「ストレスチェックと過重労働の是正を」と題して、高知医療生協産業医の岡田崇願医師が講演。

ストレスチェックの概要を示して、その問題点として医学的視点で賛否がある、実施者不足、面接指導の対応が出来ない、高ストレス者への対応、プライバシー配慮などがあり事業者が対応しない。過重労働の是正では、長時間労働による睡眠不足の健康破壊への規制が弱い、労働衛生管理の実施が不十分な現状があり、安全衛生委員会での労組の対応が重要である、と指摘しました。



パネルディスカス「安全衛生活動をどう強化するか」 「活性化のポイント」、三職場からの報告を討論

はじめに安全衛生活動の強化について、コーディネーターの村上剛志氏が、労安法の成立以来の歴史と「活性化のポイント」を講演しました。

これを受けて、広島市民病院労組の濱さんが月1回の委員会開催の結果をニュースで知らせ、人員増、時間外労働削減、手術例増、経営改善も実現させたことを報告。山口柳井医療センターで活動してきた中村さんが、準夜時のナースコール回数を調べ、衛生委員会に出し3人体制実現、2交代制の実態を示して3交代制に戻させたことを報告。高知室戸市職労の福留氏は、委員会未開催が長年続いていたが、執行委員会が決意して委員会を開かさせて、組合員から要求アンケートをとり、夜間の網戸の設置、メンタル対策を前進させてきたと報告しました。



これを受けて、全体会で講演した岡田医師と村上氏が「職場の実態をよくつかみ、労働組合として方針を練り上げて要求していくことが大切」とコメントしました。

第1分科会



初級・安全衛生「安全法・安全規則」
講師 岡田 宗 顧問医師（高知医療生協）

第2分科会



じん肺・アスベスト 報告：建交
労愛媛県本部 大西 哲史書記長

第3分科会



職場のメンタルヘルス対策
講師 谷脇 和仁 弁護士

第4分科会



長時間・夜勤交代労働の改善へ 講師：
村上 剛志氏（社会医学研究センター）

第5分科会

動く分科会
自由民権を求めて

高知市立自由民権
記念会館(写真右)な
どを見学。学芸員から
解説を受けました。



交流会

講師 村上氏のピアノ伴
奏で「沖繩を返せ」等
を輪になって大合唱。



いのちと健康をまもる中四国ブロックセミナーの経緯と運営

一、ブロックセミナーの経緯

1. いのちと健康をまもる全国センターは、安全衛生活動の教訓、経験の交流や活動家の養成などをめざして、1999年以降「働くもののいのちと健康を守るセミナー」を日本の東西で、05年から各ブロックで開催。中国ブロックでは、05年から中国5県で開催されてきました。
2. 08年全国センターは、ブロックセミナーの発展、地方センターの確立の目標を方針に追加し、ブロックとして中四国を区分。この区分によることや幅広い経験や教訓などを得るために中四国ブロックとして開催することになり、09年第1回高知県、10年香川県、11年山口県、12年愛媛県、13年広島県、14年岡山県、15年山陰、16年高知県での開催となりました。

二、ブロックセミナー実行委員会の運営

こうした経緯を踏まえ、運営は各県代表者による協議により、現地実行委員会で作業をすすめる体制としています。実行委員会は①セミナーの準備、②セミナーの発展、③各県の活動の交流、④地方センターの確立を位置づけて運営することをめざしています。

具体的には、セミナーの内容の希望の受付、具体化や案内、各県の活動の交流、支援要請、センター確立・運営の状況などを年数回のニュースにして発行することなどです。